

年中 お泊まり保育を終えて

1 学期の終わり頃、クラスでお泊まり保育について話しました。「ばら組で寝るの?」「ぼく先生と一緒に寝たい!」「〇〇ちゃん一緒に寝ようね♪」と子供たちの明るい声が聞こえてきます。『初めてののお泊まり保育に緊張しているかな?』と思っていたので、期待している声がたくさん聞こえてきて私もほっとしました。

後日、保護者の方とお話しする機会があったので、「Aちゃんお泊り保育どうですか?楽しみにしていますか?」と尋ねてみると、「やっぱり夜寝るのが不安みたいで、お友達も先生もいるから大丈夫だよって声をかけたら・・・“だって眠れなかったらどうするの?先生そんなにたくさんのお友達の背中とはんとんできないでしょ?” って(笑)」

おうちの方と離れてお泊りをするのは、ほとんどの子供たちが初めてです。きっと楽しい気持ちだけではなく、不安な気持ちもあるでしょう。友達と一緒にいる時、おうちの方と一緒にいる時、その時々のお泊まりらしくて可愛いなと思いました。それからは、少しでも不安な気持ちが軽くなるように、お泊り保育の楽しい話や困った時には私だけではなく、たくさん先生が近くにいてくれることを丁寧に伝えるようにしました。

そしてお泊まり保育当日。背中がすっぽりと隠れてしまうほど大きなリュックを背負って子供たちがやってきました。『今日は自分で頑張る!』そんな気持ちが子供たちの表情から伝わってきます。

野菜が苦手なBくんは、カレーのルーも苦手な、給食の時はお米を中心に食べていました。そんなBくんの様子に『夜ご飯大丈夫かな?』と心配していたのですが、この日は、お皿に盛られたカレーを全て食べ、「先生美味しかったからおかわりしてもいい?」と2杯もカレーを食べていました。「Bくんすごいね!食べられたね!」と声をかけると、「うん!だっておいしいから♪ぼくにんじんも食べたよ!」と嬉しそうに話していました。そうやって苦手な野菜に挑戦する姿、脱いだ洋服をきれいに畳もうとする姿、朝日が昇った空を見て「ひとり眠れた!」と嬉しそうに話す姿…このお泊り保育では頼もしい子供たちの姿をたくさん見ることができました。始まる時にはどきどきしていた子供たちも帰り支度をする頃には「お泊り保育すごい楽しかった!」「あと3回ぐらい泊まりたい!」と話すほど、にこにこ。Aちゃんも「楽しかったね♪」と大好きなお友達と手をつないで嬉しそうに話していました。

おうちの方と一緒にだから安心できる毎日の生活ですが、お泊り保育では、友達と一緒にだからこそ、いつもとは違う楽しさがある生活を味わえたのかなと思いました。

このお泊り保育をきっかけに子供たちは自立に向けて小さな一歩を踏み出したように感じます。これからもそんな子供たちの成長を近くで見守っていきたいと思います。

年中 ばら組担任



いってきます!

がんばるぞ!



おいしい!

カレーおいしい♪

おやすみなさい♪



おやすみ♪